

特集

# データヘルス計画を どう活かすか



2014年度から開始された「データヘルス計画」は、すべての健康保険組合が、データ分析にもとづいて、事業計画、実施、評価の取り組みを推進し、生活習慣病予防対策、重症化予防等の保健指導に活用するものである。データヘルス計画の解説と、保健師としてどうとらえ、どう活用するかを解説し、独自の取り組みを展開している事例を紹介する。

- 保健師にとってのデータヘルス計画の意義とその活用について
- データの活用法  
データヘルス計画の時代、あらためてデータを保健事業に活かす
- 広域で行う高齢者支援のための地域診断へのデータ活用  
愛知県東三河広域連合における取り組み
- KDBデータの活用で課題を明確化したデータヘルス計画策定と保健事業  
池田町の取り組み
- 健診データを活用した喫煙対策とメンタルヘルス対策  
総合健康保険組合におけるデータ活用